

お元気ですか



旭川市議会議員 笠木かおる通信

旭川市豊岡5条9丁目1番2号
TEL.FAX.0166-32-4863

kasagi@potato.hokkai.net

郊外のあぜ道にはふきのとうが芽ぶきはじめました。北海道の春は、ひととき躍動感を感じます。

皆さま、お元気でお暮らしのこととお慶び申し上げます。

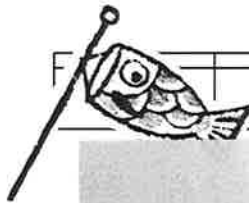
「かおる通信」35号をお届けします。4年の任期も早いもので残り1年となりました。1日1日を大切に、ふるさと旭川の街づくりが良い方向に向かうよう、引き続き全力でがんばります。

旭川市議会議員

笠木かおる



パークゴルフの振興にがんばります



4月4日、浅野清旭川パークゴルフ協会会長ら三役の皆さんとともに旭川市に対しパークゴルフの振興を要望しました。

本年度は嵐山に整備された「パークランド嵐山」(72ホール)と東旭川瑞穂の21世紀の森パークゴルフ場(18ホール)がオープンします。また、9月9日~10日にパークランド嵐山開設記念としてJALカップ全日本選手権大会が開催されます。

パークゴルフは健康予防に最適と確信しており、同協会の顧問の立場からもしっかりと振興策に取り組みます。

4地区後援会の交礼会を開いていただきました。



地元の千代田地区後援会(羽田文次郎会長)、東旭川地区後援会(中川希一会長)、愛宕地区後援会(山谷司郎会長)、豊岡地区後援会(吉田正会長)の4つの地区後援会でこのほど交礼会を開いていただきました。

ご案内が十分に行き届かなかったにもかかわらず、地区役員の方々を中心に延べ280名の皆さまにご参加いただきました。心からお礼申し上げます。

4つの後援会がそれぞれ別々に開いてくださったのは今回が初めてのことでとても嬉しく思いました。特に、日々立派な地域活動や世話役活動をなされている方々が多く参加して下さり大変恐縮に感じました。

地域の暮らしと声に根付いた議員活動をしっかりすすめる気持ちを新たにさせていただきました。

目にみえる活動に心がけます。

今年も一月元旦から街頭にたちました。身体を刺すような寒さは「身を引き締めてがんばれ」と教えてくれます。

議員としての日常活動は限りなくありますが、生活やいとなみに少しでも近い所での活動が大切と思いつけています。



旭山動物園入場券を商店で取り扱えるように!

旭山動物園入場者が年間200万人を突破しました。ピーク時には入場券を買って長い列ができることもあります。この解消と商店街に潤いを求めて、東商工会と連携しながら、小売商店等に動物園入場券を取り扱えるようにできないかと旭川市に要望しています。

春



旭川神社で想うこと



4月7日、旭川神社の春祭がありました。神社の行事に参加するたびに不思議に気持ちが落ち着きます。

「地域のシンボルでもある旭川神社を拠り所として住みよい地域をつくりましょう」とあいさつさせていただきました。

また、2月3日の節分祭では五穀豊穡・開運招福の願いをこめ、豆打ちの儀にご奉仕させていただきました。

「愛宕富士住民会館で子育てサークルを」



1月26日、朝日文雄愛宕市民委員会会長、中沢義弘同副会長、浦東信一会館運営委員長とともに愛宕富士住民会館の有効活用を旭川市に要望しました。

今後地元と協議をしながら週2回程度、同会館を「子育てサークル」の場としてモデル的に活用する予定です。

私が生まれた頃は旭川市内の中学生以下人口が34%だったのに、今は13%です。子育て支援事業は時代の大きな課題となっています。

【近況報告】長女・亜以が4月4日、二人目の男児・匡志くんを生みました。太志くんは今月2才。子育てに悪戦苦闘の我が家となりそうです。次女・香菜は4月1日から共生園で働いています。早く職場になじめばと思っています。



特別養護老人ホーム・身体障害者療護施設「共生園」で2月2日、女優・二木てるみさんをお招きして「朗読の会」を開きました。

二木さんは「鶴の恩返し」などを朗読され、二木さんの心が共生園の利用者の皆さんに伝わりました。利用者の皆さんから千羽鶴を贈られた二木さんは感激で涙。心の病が深刻な現代。素晴らしい会となりました。



平成18年度 第1回定例会が終わりました。

平成18年度予算を審議する第1回定例会が2月21日から3月24日までの32日間の会期で開かれました。
私は大綱質疑と予算審査特別委員会で質問に立ちました。
以下、質問要旨を報告します。



財政の健全化



(笠木) 政策を実現するための予算が減少しつつある。どのように増やす考えか。
(答弁) 新たな行財政改革推進プログラムを策定し、財政健全化プランを夏までに見直す。その上で、行政評価と事業計画調査を急ぎ、政策として必要な予算確保に努める。



【解説】18年度の一般会計予算は、市税収入と人口の減少、三位一体改革の影響等により1,478億円、前年度比31億円のマイナスです。

今年度は予算を確保するため、手数料の値上げや補助金のカット、職員給与の削減などを実施しました。なお不足する分は、基金(市の預金)を取り崩すとともに、本来「禁じ手」といわれる交通遺児福祉基金などの目的基金から借入れ予算編成を行いました。
しかも生活保護費などの扶助費が増加し、自由に使える政策的予算は皆無のような現状です。
行財政改革の徹底とムダ使いの一扫がさらに求められています。

指定管理者制度の更なる活用を

(笠木) 指定管理者制度の更なる活用は財政健全化の有効な手段と思う。サービスの向上・経費の節減・経済波及の面から大胆に広げる考えは。
(答弁) 指定管理者制度の導入施設の拡大については、行財政改革推進プログラムの見直しにあわせ検討する。

【解説】指定管理者制度の導入施設は現在474施設で、他都市に比べずんでいます。この結果、経費的には2億円以上が削減され、接遇サービス等が向上しているとの評価もあります。

他都市では社会教育施設などでも導入しており、拡大の検討を主張しています。



地元住民が公共事業に参加できる仕組みづくりを

(笠木) 地元住民の手により公共事業を実施する仕組みづくりはできないか。
(答弁) 地域住民や関係者の「手弁当」による事業の実施については、リスクの分担という課題もあるが今後、積極的に検討する。



【解説】いわゆる「住民施行型公共事業」の実施を提案しています。いまはどんな小さな公共事業でも住民が行うことはできません。このことにより費用を抑え、住民の満足度が高まりコミュニティの形成にもつながると思います。



広報誌の配布方法変更はもっと丁寧に

(笠木) 広報誌の配布方法が変わるが、もっと丁寧な説明を市民委員会や町内会におこない、協力をいただくべきでないか。
(答弁) 今後とも多くの市民委員会が配布に携わっていただけるよう努めていく。

【解説】本年度から「こうほう旭川市民」の配布方法が有償になり、市民委員会と業者による配布となります。

旭川市としての、市民委員会や町内会への説明が不十分で、配布する市民委員会は64中、15の市民委員会にとどまりました。

市民との協働のまちづくりをすすめるうえで、もう一度丁寧に町内会に協力を求めるべきと思います。



第3セクター評価の情報開示を

(笠木) 第3セクターの業務内容について、市民から更に信頼されるよう積極的に市が関与して情報開示すべきでは。
(答弁) 点検評価システムを充実させ、積極的に公表していきたい。
(笠木) 旭川空港ビルが1,500万円の配当をしている。国際線ターミナル整備のための内部留保が適当ではないか。
(答弁) 指摘されたことを踏まえ今後対応したい。

個性や特徴ある健康増進活動を

(笠木) 旭川市民の保健所として市民の健康増進のため、どのような旭川市独自の取り組みを行おうとしているか。
(答弁) 旭川市は医療の集積が高く、一層医療機関との連携を強化し、旭川にふさわしい健康づくり事業を展開していく。

【解説】旭川市が中核市になって6年がたちます。中核市の目玉として独自の保健所を設置できることがありました。せっかくの旭川保健所ができたのに健康増進のための独自色がみえてきません。医療や福祉の扶助費の増加が財政を硬直化させていて、財政の建て直しの面からも市民の健康増進事業が重要と訴えています。



水道事業の効率化を

(笠木) 水道・下水道事業についてどのような効率化をめざすか。
(答弁) 上水場の運転管理業務の委託などで経費の縮減に努めていく。

外来患者の午後受付と土曜診療の導入を

(笠木) 市民の市立病院として外来患者の午後受付と土曜診療を導入すべきでないか。
(答弁) 予約により午後からの受診をすすめたい。土曜診療については当面、緊急外来においてその役割を果たしていきたい。
(笠木) 病院経営の健全化にむけ、中期経営改善計画を策定すべきと思うが。
(答弁) 計画性をもって経営改善を図ることは重要であり、経営計画を策定することで検討する。

人との出会い

町内会や団体の行事に積極的に顔をださせていただいています。是非お声をかけていただければ嬉しい限りです。

この通信を作っている今日(4月10日)は幼き頃からお世話になっている東旭川農協(神村武組合長)の通常総会があり、来賓の一番目に紹介され恐縮しました。

閉校となった第4小旅立ちの会(3月19日)では、農村ですすむ子ども高齢化にやり切れない思いがしました。

写真は、お世話になっている全日通退職者の会(大谷忠正会長)の結成20周年祝賀会(2月12日)。先輩の皆さんから大きなパワーをいただきました。

